

スポーツがつなく カナダと盛岡

ホストタウンをもっと知ろう！

ホストタウンって何？

Tokyo2020に向け、自治体が特定の国や地域と連携し、スポーツや文化など幅広い分野で相互交流を進める国の構想です。市は、2016年にカナダのホストタウンとして登録され、水球と7人制ラグビーのカナダ代表チームのTokyo2020事前キャンプを受け入れることが決まっています。キャンプ期間中は、カナダ選手の公開練習や親善試合、交流会などの開催が予定され、私たちは世界トップクラスの選手たちと交流することができます。

市は事前キャンプのほかに、選手たちにさんさ踊りを体験してもらうなど文化の交流を予定。また、市内の中学生が英語の応援メッセージを書いたのぼり旗を、練習会場に掲げてお出迎えするなど、スポーツだけでなく企画を準備しています。



カナダってこんな国

カナダといえば、カナディアンロッキーやレイク・ルイズなどの大自然と、サーモンやメープルシロップといった特産品が有名。積極的に移民を受け入れ、多様な文化が共存する国です。また、ユニバーサルデザイン※1やヘルスケア※2などが重要視され、生活の質が高い国として世界中から注目されています。国技はアイスホッケーとラグロス。国民に人気があるスポーツはゴルフとカーリングです。

面積	総計998万4670km ² (世界第2位)
人口	約3616万人 (2016年4月カナダ統計局推計)
首都	オタワ
公用語	英語、フランス語

※1 文化や年齢、性別などさまざまな違いがあっても、だれもが使いやすい施設や製品、設計
 ※2 健康の維持や増進のために取り組む行為や健康管理



なぜカナダ？

盛岡市とカナダビクトリア市は、新渡戸稲造博士の縁で1985年に姉妹都市提携を交わし、30年以上交流を続けてきました。盛岡市内にもビクトリア市から取り入れたハンギングバスケットなどビクトリア市を身近に感じられるものが多くあります。市民が中心となった文化や経済、教育、スポーツなど幅広い分野での相互交流が認められ、カナダのホストタウンとして登録されました。



インタビュー 姉妹都市交流が結んだ絆

ビクトリア市が盛岡市と姉妹都市提携する前から、お互いの国でホームパーティーを開いたり、観光したりという交流をしていました。そこからビクトリア友好協会を立ち上げ、中学生の短期留学やラグビー・テニスなどの市民団体による互いの国での交流試合など、より大きな規模での交流に発展。リサ・ヘルプス市長も昨年実際に盛岡を訪れてから、事前キャンプ誘致などを積極的にアピールしてくるようになりました。人と人との交流が実を結び、今回のホストタウンに至ったのはとてもうれしいです。



盛岡ビクトリア友好協会会員 田口 絢子さん (80)

復興五輪としてのTokyo2020

Tokyo2020は、東日本大震災からの復興を世界に発信し、各国から受けた支援に対する感謝を表す大会でもあります。市も震災の時に、カナダの有志の人たちから義援金などの支援を受けました。カナダのホストタウンになることは、盛岡がカナダから受けた支援に恩返しすることにもなるのです。

盛岡を選んだ理由

ラグビーカナダのディレクターであるメイガン・ホーウッドさんが、事前キャンプ地を決めるための視察で来盛したときのコメントを紹介します。

ビクトリア市と長年にわたり築いてきた姉妹都市交流の歴史や充実した競技・宿泊施設、受け入れ態勢など盛岡を高く評価しています。そして何よりラグビーカナダの活動拠点と似通った盛岡の気候と風土に感動しました。ホームのように滞在できることを確信しています。



ラグビーカナダ ディレクター
メイガン・ホーウッドさん

次のページから水球カナダ・ラグビーカナダを詳しく紹介！



水球カナダ

今回盛岡を訪れる水球カナダは女子が2017年のワールドリーグで銀メダルを獲得するなど、世界でも屈指の強豪です。チームの特徴や得意なプレー、盛岡への思いなどを選手たちに聞きました。



interview

男子チームは若手中心で構成されています。屈強な肉体と高い志を持ち、勝つことに貪欲なチームだと思います。相手の戦術に素早く柔軟に対応するために、臨機応変にプレーできることも大きな特徴です。盛岡のファンの皆さんに会うのが今から楽しみ！ 盛岡に行くのは初めてなので、練習以外にも観光や散策などいろいろ見て回りたいです。

水球カナダ男子チーム
ニコラス・コンスタンチン・ピカリ選手

女子チームも若手中心のチームで、努力家ぞろいです。個人的に見てもらいたいプレーは、仲間の選手がフリーで攻められるポイントに出すパスですね。今回のキャンプは、Tokyo2020に向けてチームの成長を確認する絶好の機会だと思います。盛岡の皆さんには、私たちの試合を生で見て、水球の魅力を発見してもらいたいです。

水球カナダ女子チーム
モニカ・エッケン選手

水球ってどんな競技？

水球は水中で行われるハンドボールに似たスポーツです。ゴールキーパー1人とフィールドプレーヤー6人の計7人で行うチーム競技。深さ2mのプールで常に足がつかない状態でプレーします。スピーディーな動きやダイナミックなシュートが魅力の一つ。また、水中で激しい攻防が繰り広げられることから、激しいぶつかり合いに耐えられるようさまざまなトレーニングで選手の身体は鍛え上げられています。

©Diane Bekhazi-Water Polo Canada

カナダ代表に合わせて日本代表も！

ポセイドンジャパンが来盛



水球日本代表（愛称：ポセイドンジャパン）がカナダ代表のキャンプに合わせて来盛します。32年ぶりの出場となったリオデジャネイロオリンピックで、強豪国と互角以上に渡り合った男子と、2017年ユニバーシアード大会で銅メダルを獲得した女子。カナダ代表とともに

Tokyo2020での活躍が期待されるポセイドンジャパンへの声援をよろしくをお願いします！



ポセイドンジャパン女子代表

●代表同士のエキシビジョンマッチ

世界トップレベルの戦いが市総合プールで繰り広げられます。入場無料で、誰でも観戦できます。女子の試合前には岩手と山形の高校生によるオープニングマッチも開催します。ホストタウングッズのプレゼントも。迫力あるプレーをご覧ください！

【日時】
女子：6月10日(日)、14時半～15時半 (開場は12時)
※オープニングマッチは12時半から
男子：8月5日(日)、試合時間は同推進室へお問い合わせください
当日、会場へどうぞ！

●代表選手などによる水球クリニック

カナダと日本の選手などが直接指導する教室を開催。参加費は無料。教室の後は一緒に写真撮影や握手などができる交流会もあります。
【期日】男子：8月7日(火) (予定)

※詳しくは同推進室へお問い合わせください
【場所】市総合プール
【対象】市近郊の小、中学生男女20人程度

カナダと日本の合同キャンプが開催！

女子チーム 【日程】6月4日(月)～12日(火) 男子チーム 【日程】7月下旬～8月上旬
【場所】市総合プール (本宮五)
公開練習の時間など詳しくは、スポーツツーリズム推進室へお問い合わせください 【広報】D 1023078

やってみよう！

水球教室

県内で唯一の子ども向け水球教室が、市総合プール(本宮五)で開かれています。元水球ユニバーシアード日本代表の松田悠さんをコーチに、毎週木・土・日曜の3回、16時半～20時半の間で2時間開催。25℃泳げる、小学～高校生が対象です。水球初心者も大歓迎！ 見学だけでもOKです。詳しくは、同プール☎634-0450へお問い合わせください。

ボクたちも

トップレベルのプレーを生で見るのが楽しみ！



同教室に通っている盛岡市立高の田崎亮君(3年)、細越泰生君(2年)、佐々木颯君(3年)